



平成 22 年 7 月 26 日

各 位

東京都目黒区青葉台三丁目 6 番 16 号

株式会社 B B H

(URL <http://www.bbank.co.jp>)

代表者名 代表取締役社長 大島 剛生

(コード番号：3719)

問合せ先 管理本部長 江口 航

電話番号：03-5456-3051

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会決議により、平成22年12月期第2四半期決算短信において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたのでお知らせいたします。

記

当社は平成 20 年 12 月期以降において、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しており、平成 21 年 4 月 30 日提出の「平成 20 年 12 月期有価証券報告書」から平成 22 年 12 月期第 1 四半期までの期間「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社グループは、このような状況を解消するために、事業活動においては主力事業への集中による事業基盤の強化としてグループ再編を実施し、コンサルティング事業への回帰を図りました。

さらに、コンサルティング事業の収益力向上のために、コンサルタントの稼働適正化、営業情報の共有強化、事業の管理・事務集約によるコスト削減を行ってまいりました。

また、グループ全体の管理コスト削減のために、新株予約権無償返還、本店移転を実施し、継続して低コスト体質の維持に注力してまいりました。

財政面においては、有利子負債の圧縮、売却可能資産の現金化を実施し、財務体質の改善を図ってまいりました。

これらの結果、平成 22 年 12 月期第 1 四半期において、大幅な赤字縮小を実現し、四半期連結キャッシュ・フローにおいて、営業活動によるキャッシュ・フローのプラス転換を果たし、コンサルティング事業における営業黒字化も達成いたしております。

さらに、平成 22 年 12 月期第 2 四半期においても、継続して営業活動によるキャッシュ・フローのプラスを堅持し、コンサルティング事業も引き続き営業利益を計上しております。

これらに加え、平成 22 年 6 月 1 日付「特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、保有有価証券に係る分配により、平成 22 年 12 月期第 2 四半期において一定の資金獲得及び連結・個別業績での四半期純利益の黒字化を実現しております。

上記事業の業績の状況及び今後の資金計画に基づき、当社会計監査人と十分な協議の上、当社グループは平成 22 年 12 月期第 2 四半期以降において継続企業の前提に関する重要事象等が存在していないと判断されましたので、「継続企業の前提に関する注記」を解消することといたしました。

以 上